

4 授業研究会の性格を左右する付箋の分類の仕方

付箋を使用するメリット

付箋を使った授業研究会では、記憶に頼って話し合う従来の授業研究会よりも、生徒を観察して気付いた事実に基づいて、短時間でも活発に対話することができます。

また、記入済みの付箋を共通のテーマごとに仲間分けしたり、付箋同士の関係をとらえたりする作業ができるため、参観者が授業を見る視点を広めたり深めたりすることが期待できます。

(1) 教師の指導と生徒の反応を分析しやすい「時系列のワークシート」

参観者が研究授業の中で記録した付箋を、授業の展開の流れに沿ってそのまま貼り出しながら、参加者全員で授業を振り返る方法です。このように時間軸で整理してみると、教師の発問や指導などと、生徒の学習活動との関係が見えてきて、効果的に協議が展開されることが期待できます。

○月○日 () 「○○○○」単元・題材名「○○○○○○○○」○年○組 授業者 ()									
	(1:40)	(1:50)	(2:00)	(2:10)	(2:20)				
学びが成立している点・参考になる点	1:41 前時の振り返りを本時の学習につなげている。	1:44 4人グループで相互評価せよとの指示に興味を示す。	1:50 皆真剣に指摘事項を考えている。	2:00 N君がH君に助言をしている。	2:02 GさんがO君に表現の意図を確かめている。	2:10 班員の相互評価を皆真剣に読んでいる。	2:15 相互評価を基にした推敲作業に皆真剣に取り組む。	2:21 U君がH君に直した文を見せて助言を求めている。	
	1:41 Wさん意見文の書き方のポイントを押さえている。	1:44 よい点と改善点を10か所ずつ指摘する手法に興味。	1:52 机間指導で助言を受けたA君が鉛筆を走らせ始める。	2:00 Yさん「この表現うまい」と言った。	2:02 O君がGさんに表現の意図を説明している。	2:12 I君「なるほどそう書けばよいのか」と気付く。	2:17 Kさんが資料で意見文の根拠となるデータを確認。	2:27 U君「前よりもうまく書けた」と嬉しそう。	
	1:43 本時の目標が明確にされている。	1:46 早速机を寄せ合って、互いの意見文を読み始める。	1:53 「小さな気付きでもいい」との説明に全員納得。	2:05 皆意欲的に学習活動に取り組んでいる。	2:13 よい点の指摘を読んだF君満悦顔。	2:19 M君辞書で漢字を確認している。		2:28 自己評価で本時のねらいの達成状況を確認している。	
気になったこと・授業者への質問など	1:42 WさんとK君は答えられたが、他の生徒はどうか？	1:44 4人グループにした意図は？	1:51 A君は指摘事項が思い浮かばないで考え込んでいる。	2:07 机間指導で出た質問について全員に説明しないのか？		2:18 M君「どう直したらいいかわからない」とつぶやく。	2:25 相互評価を推敲に生かし切れない生徒への指導は？		
		1:47 班編成の際に構成員について何か配慮したか？	1:51 Eさん「10か所も分かんない」とつぶやく。			2:19 Jさん鉛筆を持ったまま思考停止状態。		2:29 自己評価をどうフィードバックするか？	
		1:47 作品を見られることに抵抗のある生徒への配慮は？							

(2) 課題やテーマ別に分析しやすい「マトリックスのワークシート」

授業者の課題や研究テーマが明確にされている場合は、参観者にもその視点から授業を観察してもらい、授業研究では、課題や研究テーマにそって付箋を整理しながら振り返る方法もあります。このようにすることで、最初から話題を焦点化し、重点事項を優先的に協議することができます。

付箋を使った授業研究会に要する時間は、参観者や付箋の数にもよりますが、付箋のすべてについて話題にすると、授業時間の2倍程度を要することが少なくありません。しかし、この例のように協議の方向性を定めておけば、授業研究にかかる時間が十分に確保できない場合でも、優先順位に従って協議することが可能になります。

場合によっては、(1)のように、時系列で付箋を整理したものを、このような視点を加味してグループ分けするという方法もあります。

次の例は、授業者が課題として取り組んだ「学び合い」「主体的な学習」「『書く能力』の育成」の3つのテーマに沿って、付箋を整理したものです。

〇月〇日 () 「〇〇〇〇」単元・題材名「〇〇〇〇〇〇〇〇」〇年〇組 授業者 ()					
	学び合い	主体的な学習	「書く能力」の育成	その他	
学びが成立している点・参考になる点	<p>2:00 N君がH君に助言をしている。</p> <p>2:00 Yさん「この表現うまい」と言った。</p> <p>2:02 GさんがO君に表現の意図を確かめている。</p> <p>2:02 O君がGさんに表現の意図を説明している。</p>	<p>2:10 班員の相互評価を皆真剣に読んでいる。</p> <p>2:13 よい点の指摘を読んだF君満悦顔。</p> <p>2:15 相互評価を基にした推敲作業に皆真剣に取り組む。</p> <p>2:21 U君がH君に直した文を見せて助言を求めている。</p>	<p>1:44 4人グループで相互評価せよとの指示に興味を示す。</p> <p>1:44 よい点と改善点を10か所ずつ指摘する手法に興味。</p> <p>1:46 早速机を寄せ合って、互いの意見文を読み始める。</p> <p>1:50 皆真剣に指摘事項を考えている。</p> <p>2:05 皆意欲的に学習活動に取り組んでいる。</p>	<p>1:41 前時の振り返りを本時の学習につなげている。</p> <p>1:41 Wさん意見文の書き方のポイントを押さえている。</p> <p>1:43 本時の目標が明確にされている。</p> <p>1:52 机間指導で助言を受けたA君が鉛筆を走らせ始める。</p> <p>1:53 「小さな気付きでもいい」との説明に全員納得。</p> <p>2:12 I君「なるほどそう書けばよいのか」と気付く。</p> <p>2:17 Kさんが資料で意見文の根拠となるデータを確認。</p> <p>2:19 M君辞書で漢字を確認している。</p> <p>2:27 U君「前よりもうまく書けた」と嬉しそう。</p> <p>2:28 自己評価で本時のねらいの達成状況を確認している。</p>	
気になったこと・授業者への質問など	<p>1:44 4人グループにした意図は？</p> <p>1:47 班編成の際に構成員について何か配慮したか？</p>	<p>1:47 作品を見られることに抵抗のある生徒への配慮は？</p>	<p>1:42 WさんとK君は答えられたが、他の生徒はどうか？</p> <p>2:18 M君「どう直したらいいかわからない」とつぶやく。</p> <p>1:51 A君は指摘事項が思い浮かばないで考え込んでいる。</p> <p>1:51 Eさん「10か所も分かんない」とつぶやく。</p> <p>2:07 机間指導で出した質問について全員に説明しないのか？</p>	<p>2:25 相互評価を推敲に生かし切れない生徒への指導は？</p> <p>2:19 Jさん鉛筆を持ったまま思考停止状態。</p> <p>2:29 自己評価をどうフィードバックするのか？</p>	

